

福岡みらい病院で 人工膝関節手術（TKA・UKA）を受けられた患者様へ

当院整形外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	Center Matching 概念の解剖学的・生体力学的妥当性の検証 — 大腿骨・脛骨中心の 1 対 1 対応に関する後ろ向き画像解析研究 —
当院の研究責任者（所属）	高柴 賢一郎（整形外科）
本研究の目的	膝関節の術前 CT 画像データから、大腿骨顆間窩中心と脛骨顆間隆起（intercondylar eminence）中心の位置関係、および ACL・PCL 脛骨付着部を基準とする新規ランドマーク（Target Line）の個体差を計測・解析する。 これにより、正常膝関節における大腿骨・脛骨中心の対応関係（Center Matching）という概念の解剖学的妥当性を検証し、将来の人工膝関節手術における設計・評価の基盤となる知見を得ることを目的とする。
調査データ該当期間	西暦 2015 年 6 月 1 日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究方法	後ろ向き観察研究（既存の画像・診療情報を用いた解析） ●調査の対象となる患者様 福岡みらい病院整形外科で人工膝関節手術（TKA または UKA）を受け、術前 CT 画像データが取得されている患者様 ＜電子カルテ・画像データに記載のある診療情報＞ 年齢、性別、膝の左右、診断名、既往歴、膝関節 CT 画像データ、および画像から計測される大腿骨顆間窩・脛骨顆間隆起・靱帯付着部等の形態計測値
個人情報の取り扱い	研究に用いる情報は匿名化し、個人が特定されないように措置を講じるほか、アクセス制限された保管場所又はパス

	ワード管理されたサーバに保管します。また、対応表を作成する場合は、研究データと分離して厳重に管理します。データの保管期間は、研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とし、保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄します。その他媒体に関しては、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究の実施にあたり利益相反はありません。 研究参加による謝礼は発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 整形外科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：高柴 賢一郎